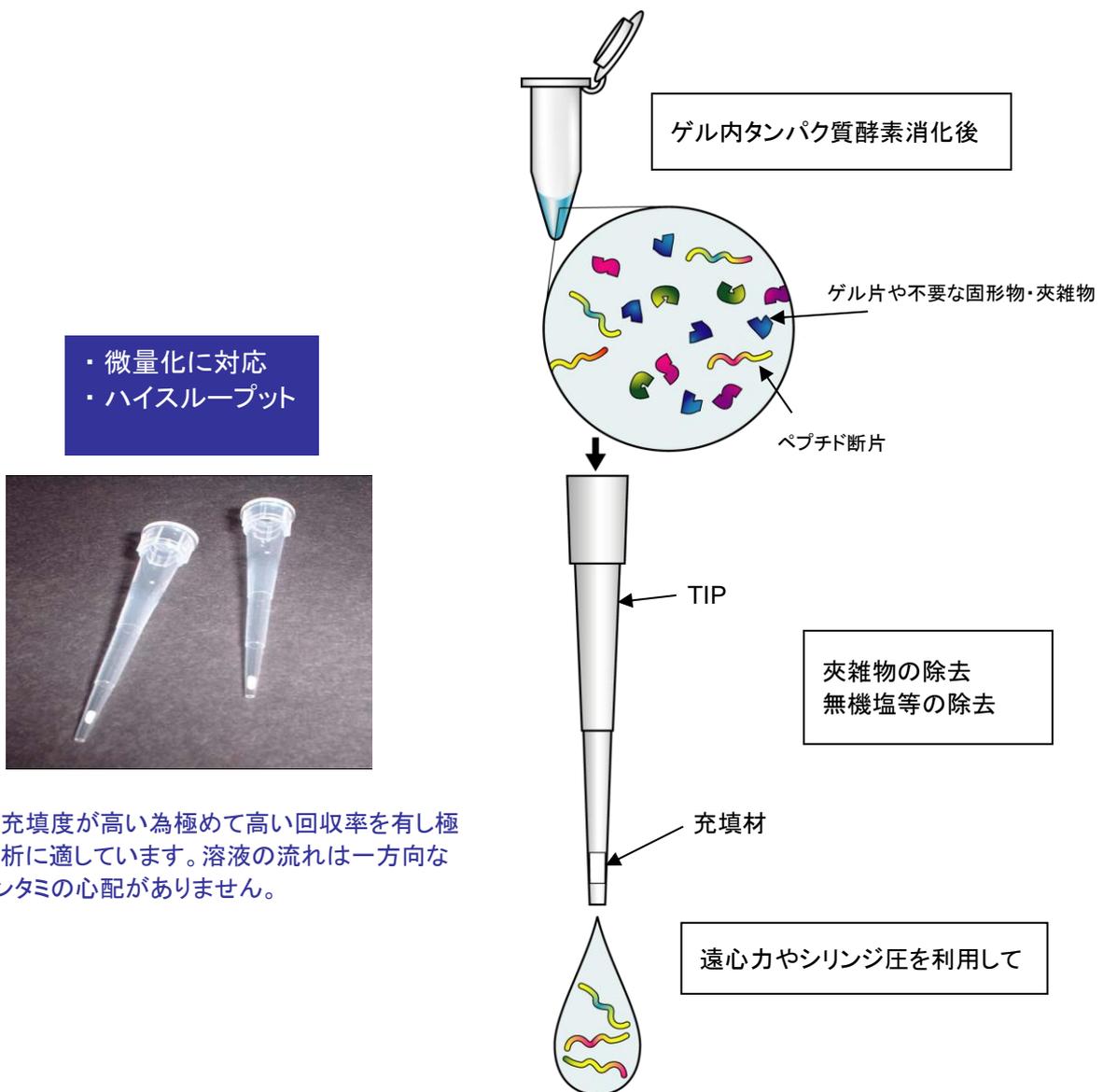


## C-TIPカタログ & 価格表

### Solid Phase Extraction

チップの先端にサンプル溶液の濃縮・脱塩をする為の固相抽出用クロマトグラフィー樹脂を充填致しました。このSPE C-TIPは溶液試料をカラムベッドの上方から下方へ排出させるため、コンタミの心配が無く、固形物(ゲル等)がろ過される為フィルターとしての機能も兼ね備えています。回収には遠心機を使用する方法やシリンジで圧を加えて回収する方法を選べます。それぞれのサンプル容量に応じてお選びください。

SPE C-TIPとは **Solid Phase Extraction** (固相抽出) Tipのことです。



樹脂の充填度が高い為極めて高い回収率を有し極微量分析に適しています。溶液の流れは一方方向なのでコンタミの心配がありません。



製品番号	製品名	容量	入数	定価
KT200-C18-2	Cチップ <sup>®</sup> KT200	200μl	2ラック(96本×2箱)	¥19,000 *
KT200-C18-4			4ラック(96本×4箱)	¥36,000 *



製品番号	製品名	容量	入数	定価
T300-C18-2	Cチップ <sup>®</sup> T300	10μl	2ラック(96本×2箱)	¥19,000 *
T300-C18-4			4ラック(96本×4箱)	¥36,000 *

#### ◆使用方法◆

- ① まず、C-18が挿入されたC-TIPのローレット側からフィルターのパレコンディショニングの為、試薬Aをピペッターで注ぐ。この工程はフィルターの活性化、洗浄の意味がある。  
この時、フィルターがあるのでチップ先端から試薬Aが流れ出すことは無い。
- ② 次に液の入ったC-TIPを約15秒間遠心(1000G~2000G)する。  
この工程で試薬Aはフィルターを通過し、チップ先端から流れ出す。これで活性化完了。
- ③ 試薬Bを用い上記1, 2の作業を行う。サンプル注入準備完了。
- ④ メンブランが湿潤状態であることを確認(3のステップの後、長時間放置しないこと)。
- ⑤ サンプル溶液を1の方法で注ぐ。遠心の場合は1000Gで約10秒間おこなうがシリンジ加圧の場合は専用注射筒でゆっくり加圧する。これにより吸着させる。
- ⑥ 洗浄の為、試薬BをC-TIPに注入する。
- ⑦ C-TIPを1000G~2000Gで15秒位遠心する。
- ⑧ 溶出の為に、試薬AをC-TIPに注入する。
- ⑨ 専用の注射筒でゆっくり加圧しながら回収する。

※ 遠心時間は目安です。

※ 試薬A: アセトニトリル 80%、酢酸: 0. 5%(TFA、HFBAも使用可)

試薬B: アセトニトリル 4%、酢酸: 0. 5%(TFA、HFBAも使用可)



エーエムアール株式会社  
東京都目黒区中根2-13-18  
第百生命都立大駅前ビル5階 〒152-0031  
TEL : 03(5731)2281 FAX : 03(5731)2283

※記載の価格には消費税は含まれておりません。

※本カタログ記載の規格・仕様・価格などにつきましては、予告なしに変更する場合がございます。予めご了承下さい。

※ご注文商品の合計金額(定価)が5,000円未満の場合は、送料をご負担頂きます。